

# Estuary

## Estuary 032

～いしかり砂丘の風資料館だより～

### 展示資料のひみつ

リターンズ

砂丘の風資料館横の旧長野商店に6月から新しい展示物が増えました。展示物とは柱時計でカチカチと時を刻み、1時間ごとにボンボンと時報を鳴らしています。この時計は旧長野商店で使われていて、その後長野家が引っ越す際、外され小樽に運ばれ、役目を終えて後に小樽市博物館に寄贈されたものです。ですからこの時計はしばらくぶりで石狩に里帰りしたことになります。時計は今から112年前の明治29（1896）年に購入されたものです。貸し出しにあたって小樽市博物館スタッフのご好意で整備調整して頂きました。

この時計はアメリカのコネカット州にある「セス・トーマス（Seth Thomas）」という時計屋さんで作られた「オフィスシリーズNo.3」という柱時計です。このタイプの柱時計の特徴は、文字盤外側が八角形をして振り子窓に絵が描かれていることです。展示品もこの特徴をもっています。振り子窓には花瓶に入れた黄色い百合の絵がプリントされています。

時計の背中には「14.00 ⊕明治廿九年九月七日  
小樽入舟町 堀口より買求△ 石狩親舟町 商店

#### ■旧長野商店の柱時計

セス・トーマス オフィスシリーズNo.3

時代 明治29（1896）年

大きさ 高さ55cm

文字盤外形幅35cm

振り子外形20cm

厚さ8.5cm



用」と墨で書かれており、小樽で購入したことがわかります。14.00は売値と思われる、14円を表わしていると考えられます。当時、小学校の先生の初任給が8円だったという話ですから、その2ヶ月分弱にあたり相当高価なものだったことがわかります。

ちなみに、はまます郷土資料館には明治4（1871）年製の米国イングラハム社のカレンダー付き柱時計が今も時を刻んでいますのでこちらの方もご覧下さい。◆

（石橋孝夫 いしばしたかお）

## 幻の花壇パート2

去年の秋、私は燃えに燃えていました。資料館前の花壇作りのことを、エスチュアリNo.29で取上げたためです。書いたからには実行しなくては！

近くの海浜植物保護センターからハマボウフウとエゾカワラナデシコの種をもらい、インターネットで調べた広島県尾道市因島（いんのしま）の老人クラブから「しらゆき」という品種の除虫菊の種を分けてもらいました。種に添えられた手紙の中で、この品種は昭和40年に広島市農業試験場島しょ支部（因島重井町）で育成され、昭和42年に一般農家で栽培が始められたとありました。今回いただいた種は、明治25年から昭和35年頃まで石狩で栽培されていた「ダルマチア種」とは品種が違うかもしれませんが、でも、除虫菊の花を資料館で見ることができたらいいなと思ったのです。

ハマボウフウの種は秋蒔きで春に芽が出るということだったので、早速、資料館隣の旧長野商店前に蒔きました。雪が解け、ヒバリが鳴き、山菜採りに賑わう頃から、ハマボウフウの芽は今日か・明日かと心待ちにしているのに、いっこうに出る気配がありません。

5月中旬に蒔いた除虫菊とエゾカワラナデシコも、種をたくさん蒔いた割には、小さな芽が少し出ているだけです。私はどちらの芽もどのような形で出るのか知らないの、大きく育ててみないとわかりません。これからのお楽しみ？（雑草の芽ということも、無きにしも非ず）

花壇の雑草を取り、土をおこし肥料を入れて、環境は整えたつもりでしたが、簡単に進みません。小学生のころ大好きで何回も読んだ「みどりのゆび」（モーリス・ドリュオン作 岩波書店）のチトのように、“みどりのおやゆび”があったなら、土に埋もれた種から芽を出すことが出来るのにと感じてしまいました。私の思い描いていた独自性のある花壇とは程遠くなりそうです。花一つ咲いてないのも何だか寂しいのでラベンダーを4株植えました。

花壇作りの修行もまだまだ続きます。◆

（倉 雅子 くらまさこ）

※6月28日、資料館ボランティア「砂丘の風の会」の皆さんが、花壇の空いているところに花の苗をたくさん植えてくださいました。海からの風に負けずに育ってくれることを願っています。

## 山本のおもいつきノート① 道路わきにて…

春先、雪溶け間もない頃に散歩に出歩いた時のこと、道路脇の木の幹が淡い黄色になっているのに気づきました。何かな？と思ってよく見てみると、細かくかじったような痕がついています。ネズミかな？リスかな？と思いましたが、痕は木の根元から人間の腰ほどの高さまでついているものがあります。一体、どうやってこの痕はつけられたのかという疑問を抱いたまま6月を迎えました。先日、ふと木を見てみると花が咲いているではありませんか。“おお！これならば、何の木か調べられるかも知れない”と思いつき、木の特徴を覚えて帰

り、図鑑とにらめっこをすること10分。葉の表面にザラザラの白斑が散らばっていて、ラッパのような白い花は、〇〇〇〇という名前の木だと特定できました。さらに、この木は9～10月には赤い実をつけ、これは果実酒にできるとか。一年を通して楽しめそうな、気になる木の発見でした。皆さんは、この木が何の木かお気づきになりましたか？ ◆

（山本佳奈 やまもとかな）



## 7月～9月の講座・展示

体験講座

### 勾玉作り教室

7月  
開催

勾玉（まがたま）とは、古代の人々が石などで作り、魔除け・装身具などとして身に付けていたものです。短時間で作れますので、あなたのオリジナル勾玉を作りませんか！

（資料館ボランティア「砂丘の風の会」主催）

- 日時 7月19日（土）10:00～12:30
- 場所 いしかり砂丘の風資料館前（屋外）
- 定員 25人（先着順）  
（小さなお子様は保護者同伴で）
- 費用 500円（材料費・保険料）
- 持ち物 レジ袋（大きめのもの）、汚れてもよい服装、帽子
- 申込 7/1（火）～7/11（金）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ

体験講座

### 土器づくり（全2回）

7月  
開催

①製作

- ・日時 7月26日（土）09:30～16:00
- ・場所 若葉小カルチャーセンター 2階陶芸室

②野焼き

- ・日時 8月9日（土）09:30～16:00  
（雨天の場合は延期）
- ・場所 石狩紅葉山49号遺跡（発寒川遊水地内）

- 定員 20人（定員を超えた場合は抽選）
- 費用 300円（材料費）
- 申込 7/1（火）～7/11（金）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ

連続講座

### 石狩大学博物館

予告!

今年もやります、イチからイシカリ！ 学芸員が石狩の自然や歴史をわかりやすく解説します。

- 日時 10月～11月ごろ
- 場所 石狩市民図書館（予定）

くわしくは8月以降の石狩市広報、資料館ホームページなどでお知らせします。

特別展（厚田資料室）

### 厚田と海の道

8月  
開始

厚田は古くから海を通じて全国とつながっていました。海の道を通して厚田から旅立った産物、人物によって厚田と北海道の歴史が見えてきます。

- 期間 8月5日（火）～10月31日（金）  
（※都合により日程が変更になりました）  
（月曜休館）

- 場所 厚田資料室（石狩市厚田区厚田公園内）  
※厚田資料室の入館料（大人200円、中学生以下無料）が必要です。

体験講座

### 化石のレプリカをつくる

アンモナイトや石狩産の貝化石から型取りして、本物そっくりのレプリカ（複製品）を作ります。あなたの部屋にアンモナイトを展示してみたいはか？ 一度型を作ってしまうと、その後何個でもレプリカを作れますよ！

- 日時 8月16日（土）13:00～17:00
- 場所 砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人
- 定員 12人（先着順）
- 費用 500円（材料費）
- 申込 8/2（土）～8/13（水）の間に電話で資料館（0133-62-3711）へ

8月  
開催

テーマ展

????????

8月頃開始で計画しています。内容は…お楽しみに！

### ちいさな海の歴史 世界の海が、うす塩に

アフリカとヨーロッパに挟まれた海、地中海。今からおよそ500万年前、この海が干上がる「事件」が起きました。それも一度だけでなく、干上がっては大西洋から海水が流入し、また干上がって…、というように何度も何度も。干上がる時は水だけが蒸発して塩分は岩塩や石膏として地中海だった所に残るので、とうとう地球の海全体の塩分が1割近く薄くなってしまいました。それが原因で寒冷化や海の生物の絶滅などが引き起こされました。「メッシニアン（※時代名）の塩分危機」という地球史の一大事件に数えられています。

（志賀健司 しがけんじ）

# 赤い布袋

寄贈された葉書の束を整理していたら間に赤い布袋みたいなものがありました。しかもそれは、丁寧にたたまれ、未使用の状態でした。一緒の葉書はほとんどが大正初期で、この赤い布袋もその頃のものではないかと推定されます。

さらに整理を進めていると、こんどはメモ帳が出てきて、そこに新聞の記事の切り抜きが貼ってありました。内容は、

「●石狩座に招かれた高齢者 十日石狩郡石狩町石狩座に於て町民大懇親会を開き盛況を極めたるは既報の如し其の際同町の高齢者に対し本社より赤頭巾一個宛（づつ）を贈りたるが其の氏名左の如し 今泉栄吉、田中マン、西川年武、福岡スゲ、杉村喜十郎、門井興三郎、木村キヨ、徳水キイ、高島晴信、津野ミセ、石田久兵衛、金田スエ、鈴木竹次郎、中島キヨ、佐藤茂平、松岡定吉、島田チヨ、国谷竹蔵、篠崎清助、吉成吉右衛門、国谷リキ、国森トネ、高畑ミヨ、佐藤ハツ子、小黑寅吉、拝原捨吉、榎八左衛門、齊藤十郎、同ソメ、福本チカ、塚谷キクノ、佐々木仁三郎、古川昆之助、畠山ユキ、川端萬蔵、佐藤キミ、佐藤米松、太田善左衛門、高橋チカ」

となっていました。これを読んで、葉書の束の間の赤い布袋のことが頭に浮かびました。再び袋を出して見直してみますと、袋ではなく赤頭巾だということが確認でき

ました。記念品だからこの人は大事にしまっていたのでしよう。

この頭巾の持ち主は記事にある「高島晴信」で当時年齢は80を越えていたと考えられます。新聞社名など現在調査中ですが、「町民大懇親会」としてありますから正月行事だったかもしれません。◆

(石橋孝夫 いしばしたかお)

## 夏休みは… 資料館で自由研究！なんて、どう？

もうすぐ夏休み！ 小中学生のみなさん、自由研究のテーマ、考えてますか？ 砂丘の風資料館には自由研究のネタがいっぱい。展示資料や収蔵資料、学芸員の専門知識を、どんどん活用してください。

例えばこんなテーマはいかが？

(当館のスタッフとボランティアで、ちょっと考えてみました。)

- ・石狩浜にはどんな貝がいる？
- ・浜辺の漂着ゴミはどこからどれくらいやってくる？
- ・遺跡から出てくる石器はどうやって使っていた？
- ・石狩浜の砂はどんなものからできている？
- ・石狩のアイヌ語地名を調べて地図に記入してみる
- ・明治時代の建物「旧長野商店」に使われた石材「札幌軟石」とは？

このほか、夏の体験講座（3ページ）もオススメ！

## 編集後記

11頭。これは今年6月に石狩や小樽など石狩湾岸に漂着したイシイルカの数です。多いのか少ないのか、わかりますか？ 2007年は1年間で1頭確認されただけ、それ以前は石狩浜だけのデータですが2003年に1頭記録があるだけです。もちろん今年は異常に多いのです。ここで大事なのは、他の年のデータがある、ということ。異常な現象というのは、平常時のデータがあってこそ、知ることができるのです。(け)

### ■最近の「いしかり博物誌」（石狩市広報に連載中）

☞第94回：セピア色の写真（08年5月号）

☞第95回：サケ缶の食べ方（08年7月号）

## エスチコアリ No.32

いしかり砂丘の風資料館

開館時間 午前9時30分～午後5時00分  
 休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始  
 入館料 300円（中学生以下は無料）、団体料金240円（15名以上）  
 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、「石狩温泉」下車、徒歩1分（石狩温泉「番屋の宿」向かい）

2008年7月5日発行

いしかり砂丘の風資料館  
 〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4  
 TEL/FAX: 0133-62-3711  
 bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp  
<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/>